

2014年6月6日

報道関係各位

アステラス製薬株式会社  
ユーシービージャパン株式会社

## 抗 TNF- $\alpha$ 抗体「セルトリズマブ ペゴル(一般名)」

### 欧州リウマチ学会総会 (EULAR2014)での発表演題に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社(本社:東京都中央区、社長:畑中 好彦)とユーシービージャパン株式会社(本社:東京都新宿区、社長:ジョエル・ピーターソン、ユーシービーグループを総称して以下「UCB」)は、両社で共同開発・商業化を進める、PEG化<sup>\*1</sup>抗 TNF- $\alpha$ (腫瘍壊死因子 $\alpha$ )抗体「セルトリズマブ ペゴル」(一般名、日本での製品名「シムジア<sup>®</sup>」、欧米での製品名 Cimzia<sup>®</sup>)について、欧州リウマチ学会(EULAR:European League Against Rheumatism)2014年年度総会(Annual European Congress of Rheumatology、開催期間:6月11日-14日、開催場所:フランス、パリ)において、早期関節リウマチに対する第Ⅲ相臨床試験のデータを発表いたしますので、お知らせします。

セルトリズマブ ペゴルの EULAR での発表のスケジュールは、以下の通りです。

アブストラクト #FRI0278

- 日時:現地時間 2014年6月13日(金)午前11時45分~13時30分
- セッション:Poster Session
- 会場:Poster Area D, Level 4
- タイトル:The First Early Rheumatoid Arthritis, Certolizumab Pegol, Multicenter, Double-Blind, Randomized, Parallel-Group Study: C-OPERA, in Patients Fulfilling the 2010 ACR/EULAR Classification Criteria, Demonstrates Inhibition of Joint Damage Progression
- 発表者:Atsumi, T. *et al.*

\*1: 抗体をポリエチレングリコール(PEG)で修飾すること

#### 関節リウマチについて

関節リウマチ(RA)は、進行性の自己免疫疾患で、関節に慢性の炎症を引き起こします。一般的には手足、手首、膝などの小さな関節が障害されますが、全身性の疾患であり、内臓や血管系などに影響を与えることもあります。関節リウマチの患者さんは全世界で500万人、日本では約65万人と推定されています。有病率には性差があり、女性は男性の約3倍と知られています。また、関節リウマチは年齢にかかわらず発症しますが、好発年齢は40-50歳です。

## **会社概要**

### アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬株式会社 (<http://www.astellas.com/jp/corporate/>) は、東京に本社を置く、連結従業員数約 17,000 人の製薬会社です。「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げ、研究開発型のグローバル製薬企業として積極的に事業展開を図っています。泌尿器疾患、免疫疾患（移植を含む）および感染症、がん、精神・神経疾患、糖尿病合併症および腎疾患の 5 領域を重点研究領域に掲げ、これらの領域でグローバル・カテゴリー・リーダーの地位を確立したいと考えています。

### ユーシービーグループについて

ユーシービーグループ ([www.ucb.com](http://www.ucb.com)) は、ベルギーのブリュッセルに本社を置くグローバルバイオフーマ企業です。中枢神経疾患領域、免疫・炎症疾患領域等の重篤な疾患に特化した革新的な医薬品及びバイオテクノロジー製品の研究、開発、販売を行っています。従業員は世界でおよそ 8,500 名おり、約 40 カ国の国々で活動をおこなっています。2013 年の売上は 34 億ユーロです。UCB はユーロネクストに上場しています（シンボル:UCB）

ユーシービージャパン株式会社は、1988 年に設立され、アレルギー性疾患治療剤「ジルテック<sup>®</sup>錠」（一般名：セチリジン）などを販売してきました。2010 年 9 月に発売された抗てんかん剤「イーケプラ<sup>®</sup>錠」（一般名：レベチラセタム）や 2013 年 3 月に発売された関節リウマチ治療剤「シムジア<sup>®</sup>」を新たな成長の起点とし、中枢神経系（CNS）ならびに免疫領域を中心に治療の難しい患者さんを対象にしたスペシャリティ・バイオフーマとして、日本の医療・健康へ更なる貢献をまいります。

-###-